



# 東 侯 野

## 3月号

東侯野小学校 学校だより

平成29年3月1日

28年度の終わりにあたって

校 長 村田 幹男

日の出も早くなり、春の訪れを感じる頃になりました。暦も3月、28年度最後の月となりました。子どもたちは、一年間の学校生活のまとめをする時期であり、6年生にとっては、小学校生活を締めくくり、巣立ちを迎えます。残された一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

学校も一年間の教育活動を振り返り、次年度へ向けての教育計画を立てる時期です。「凧づくり・凧あげ大会」が終わった頃から、私たちは、子どもたちの学習や生活の様子、それを裏付けする私たちの指導のあり方、各行事の内容と方法、学校組織としてのまとめり・・・様々な観点から、時間をかけて反省と改善点を話し合いまとめてきました。先日、それらを、日頃お世話になっている地域の代表の方々との「教育懇話会」で提示し、委員の方々から貴重なご意見をいただきました。また、「クラブボランティア」としてお世話になった保護者の皆さんからも、同様に貴重なご意見をいただきました。皆さんが、子どもたちの健やかな成長を願って真剣に考えてくださっていることを本当にありがたく思います。今月は、「PTA 役員の皆さん」や「図書ボランティアの皆さん」にもご意見をうかがう予定です。

今、私たちの子どもの頃とは、子どもを取り巻く環境も明らかに変わり、価値観も多様化しています。道徳心の低下も叫ばれており、教育課題は明らかに山積しています。学校現場でも、どう対応したらよいのか悩む事例が多いのも事実です。でも、保護者の皆さん、地域の方々が学校を支え、応援してくださっていると思うと、とても心強いです。よく「開かれた学校であれ」と言われますが、子どもたちが楽しく、安心して通える学校になるように、29年度も皆さんと協力して子どもたちを育てていきたいと思っています。

毎年のことですが、卒業を間近にした6年生と、この時期、校長室でのランチミーティングをしています。授業はできなかったけど、これは、校長の特権。「中学生になってもがんばってね。」とエールを送っています。

